

事務事業名		高齢者生きがい工房運営事業					評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)	
政策体系	基本目標	2 やさしくふれあいのある健康福祉づくり					担当組織	担当部	健康医療部	担当課	いきいき高齢課
	政策	3 助け合い生きがいを実感できるまちづくり					担当係	高齢福祉係	担当課長名	片柳利幸	
	施策	1 豊かで健やかな長寿社会の実現					新規事業・継続事業		継続事業		
	基本事業	1 生きがいづくりと社会参加の促進					実施計画事業・一般事業		一般事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名					
	4822	一般	3	1	3	高齢者生きがい工房運営事業					
	事業区分		市単独事業・国県補助事業		市単独事業		任意的事業・義務的事業		義務的事業		
事業計画	単年度繰り返し	事業期間	平成5年度～ 年度		根拠法令 条例等	佐野市高齢者生きがい工房条例、同施行規則		実施方法		一部委託	
	事業区分		事業分類		施設維持管理事業(市主体)		リーディングプロジェクト		該当なし		
	市長マニフェスト		2-9								

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)										
事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)			平成26年度実績(平成26年度に行った主な活動内容)							
高齢者の生きがいと趣味活動・社会参加を促進するため、各種の教養活動の場として設置された、高齢者生きがい工房の維持管理を行う。			高齢者の生きがいと趣味活動・社会参加を促進するため、各種の教養活動の場として設置された、高齢者生きがい工房の維持管理を行った。							
			活動指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)	
			生きがい工房の利用回数	回	214	217	220			
			利用者延べ人数	人	1,770	1,921	2,072			
② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)										
おおむね60歳以上の高齢者			対象指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)	
			60歳以上高齢者数	人	41,687	42,554	43,421			
目的										
③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)										
地域の活動に参加してもらえる高齢者、介護をいつまでも必要としない高齢者を増やしていく。			成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)	
			一次予防参加者数	人	4,902	5,105	5,900			
④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)										
生きがいをもって生活してもらうとともに、多様な社会活動に参加してもらう。			上位成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)	
			ふれあいサロン参加者数	人	61,082	62,341	66,300			
			老人福祉センター利用者数	人	148,959	163,843	144,000			

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)			
	国庫支出金	千円								
	県支出金	千円								
	地方債	千円								
	その他	千円								
	一般財源	千円	837	887	968					
	事業費計(A)	千円	837	887	968	0	0			
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
			消耗品費	3	消耗品費	10	消耗品費	4		
			燃料費	24	燃料費	25	燃料費	37		
			光熱水費	533	光熱水費	561	光熱水費	588		
			修繕料	0	修繕料	0	修繕料	39		
			手数料	15	手数料	23	手数料	25		
火災保険料			3	火災保険料	4	火災保険料	5			
委託料			220	委託料	225	委託料	230			
土地借上料	39	土地借上料	39	土地借上料	40					
人件費	人	1	1	1						
のべ業務時間	時間	100	100	100						
人件費計(B)	千円	389	394	394	0	0				
トータルコスト(A)+(B)	千円	1,226	1,281	1,362	0	0				

事務事業名	高齢者生きがい工房運営事業	担当部	健康医療部	担当課	いきいき高齢課	担当係	高齢福祉係
-------	---------------	-----	-------	-----	---------	-----	-------

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	平成5年に、高齢者の生きがいづくりの一環として大橋生きがい工房が設立された。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	高齢者人口、高齢化率ともに年々増加し、高齢者対策の重要性が増している。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	議員より、生きがい工房は高齢者の生きがいづくりの場であるので、高齢者の活動の妨げにならないよう適切な施設の維持管理が要望された。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
受益者負担の適正化	受益者負担について、引き続き検討していく。

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	結びついている	理由・改善案	生きがい工房を利用した陶芸等の趣味活動を通して、仲間づくりや社会参加を促すものである。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	委ねられる・委ねられる可能性がある	理由・改善案	高齢者が気軽に利用できる生きがいづくりの場を提供することは、高齢者が増加する状況から見て妥当である。この事業は、田沼生きがい工房の維持管理を行う事業であり、民間に委ねることも可能である。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	妥当である	理由・改善案	定年を迎えた年代の方々に、生きがいの場を提供することは必要なことである。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	成果向上余地がない	理由・改善案	本事業は、活動の場の提供であり、多くの高齢者が利用しており成果は出ている。施設の老朽化及び利用者減により成果向上の余地はない。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業はない	理由・改善案	類似事務事業名
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	削減の余地はない	理由・改善案	事業費は施設の維持管理料のため、削減は困難である。人件費についても必要最小限の人数で対応しているため、削減できない。
	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	現在の受益者負担を見直す必要がある	理由・改善案	陶芸の場合、電気代も高額になるため利用料金を設定することについて、検討の必要がある。現在は、焼き入れの回数を減らし、経費がかからないよう工夫して利用されている。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)	利用頻度が高く、廃止・休止はできない。		

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																		
受益者負担の適正化  * 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。(複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。) 陶芸窯を使う時に電気代が多くなるため、受益者負担について、検討する必要がある。	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。  <table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	成果	向上			維持	○	×	低下	×	×	利用者の理解を得ること。料金の設定、利用料の徴収方法等難しい問題が山積している。
	コスト																			
	削減	維持	増加																	
成果	向上																			
	維持	○	×																	
	低下	×	×																	